

日韓パラリンピック・セミナー
2018 平昌・2020 東京大会に向けて
開催要領

1 日 時 2015 年 1 月 30 日(金)13:00~18:00

2 会 場 早稲田大学 「小野梓記念講堂」

3 プログラム

13:00- 開会あいさつ 笹川 陽平 日本財団会長

13:05- 基調講演「平昌、東京でパラリンピック大会を開催する意義」

金 成一 韓国パラリンピック委員会会長

鳥原 光憲 日本パラリンピック委員会会長

13:25- 第 1 セッション「パラリンピック大会が残したもの～過去の大会の遺産と教訓」

モデレーター:藤田 紀昭 同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科教授

パネリスト:全 恵子 順天郷大学スポーツ科学科教授

洪 碩晩 済州特別自治道、パラリンピアン(陸上)

河合 純一 日本パラリンピアンズ協会会長、元パラリンピアン(水泳)

中森 邦男 日本パラリンピック委員会事務局長

小倉 和夫 日本財団パラリンピック研究会代表

15:50- 第 2 セッション「パラリンピック大会に期待するもの～2018 平昌、2020 東京の両大会に向けて」

モデレーター:間野 義之 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

パネリスト:崔 承權 龍仁大学特殊体育教育科教授

朴 鍾喆 韓国パラリンピック委員会生活体育部長、元パラリンピアン(パワーリフティン
グ)

落合 博 毎日新聞社論説委員

田口 亜希 日本パラリンピアンズ協会理事、パラリンピアン(射撃)

平田 竹男 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

17:55- 閉会あいさつ 友添 秀則 早稲田大学スポーツ科学学術院院長

4 使用言語 日本語-韓国語 同時通訳、手話通訳付き

5 開催形態 主催 日本財団パラリンピック研究会、早稲田大学スポーツ科学学術院
協力 三菱総合研究所プラチナ社会研究会レガシー共創協議会
後援 朝日新聞社、産経新聞社、東京新聞、毎日新聞社、読売新聞社、
一般社団法人共同通信社、時事通信社、朝鮮日報、
日本パラリンピック委員会、韓国パラリンピック委員会、
日本パラリンピアンズ協会、笹川スポーツ財団